医学部学士編入NEWS

KALS 河合塾KALS 医学部学士編入講座事務局　　2022 年 7 月号

CONTENTS

Page. 1　2022 年 5 月 18 日　ニュースより（産科医不足について）

Page. 5　事務局より

2022 年 5 月 18 日　ニュースより（産科医不足について）

文責：池田俊哉

2022 年 5 月 18 日、以下のようなニュースが報道されました。

「和歌山県内で産科医が不足し、分娩（ぶんべん）を休止する病院が相次いだことから、県は１７日、２０２３年度から県立医科大学（和歌山市）医学部の入学者枠「県民医療枠」内に「産科枠」（３人程度）を新設すると発表した。卒業後に９年間、県内で勤務や研修をしてもらう。産科に限定した入学者枠を設けるのは全国の大学で初めてという。

県立医大医学部の定員は１００人で、このうち「県民医療枠」は２０人程度。県民医療枠は、県内の医師確保のために０８年度に設置した入学者枠で、在学中に修学資金を支給。卒業後、同大学の付属病院や県内の地域中核病院で９年間、研修や勤務することを条件に、返還が免除される。

これまでは診療科の限定はなかったが、来年度からは県民医療枠のうち３人程度を「産科枠」に設定。加えて、県内で特に不足する３科（産科、小児科、精神科）から選択できる「不足診療科枠」（２人程度）も設ける。募集要項は７月に発表する。」

（https://www.agara.co.jp/article/199284/）

完成シリーズ小論文演習でも触れることですが、産科医不足が深刻さを増しています。医師総数全体は伸びているものの、産科医の数が伸び悩んでおり、各地で産科閉鎖の動きが出ています。妊婦の方々が産む場所を見つけられず途方に暮れているのが現状です。いわゆる「お産難民」と呼ばれるもので、地方に限らず、都市部でも多く発生しています。

産科医の数が伸びない背景要因の一つとして挙げられるのが、産科の過酷な勤務状況です。お産は時間を選ばないため、毎日誰かが当直しなければならず、当直日数は他科と比べて突出して多い状況となっています。私の友人の医師が研修医時代に周った某病院の産科では、常勤の産科医が 4 人だけという状態でした。これで毎日誰かが当直しなければならないとなると、相当に過酷な勤務になろうことは容易に想像がつきます。当直明けでそのまま日勤ということもあるでしょう。36 時間連続勤務という例も決して珍しくないと聞きます。

また、いわゆる「スーパーローテート方式」の採用も産科医不足に拍車をかけたと言われています。

初期臨床研修では、2004 年以前は「ストレート方式」と言って、国家試験合格後すぐに専門の科を選び、そこで専門の研修を学ぶというスタイルが採られていました。

しかし 2004 年からは「スーパーローテート方式」に切り替わり、初期臨床研修の 2 年間は様々な科を巡って、それから専門を決めるというスタイルになったのです。皆さんがこれから体験するのもこの「スーパーローテート方式」になります。

この変更のそもそもの理由は、一つの専門しか知らない医師でなく、全身を見ることのできる医師が高齢社会には必須だと考えられたためです。あちこちの科を巡り、どの科でも対応できるようにすることで、多くの診療科にかかりがちな高齢者の医療を下支えしようということです。

しかしながら、この変更が産科医不足を加速させました。専門を選ぶ前に予め産科の過酷な勤務状況を知ってしまうため、産科が敬遠されてしまうのです。よく考えてみると、皆さんの志望理由書を読んでいても、産科志望の方は見たことがありません。

和歌山県立医科大学が今回産科枠を創設したのも、この産科医不足を何とかしたいという想いから生まれたものと推測可能です。これがうまく回れば、少なくとも和歌山県内での産科医不足は多少改善するのかもしれません。

しかしながら、そもそも産科医枠での応募がどこまであるのか不透明です。また、全国的に行われている取り組みでもないため、効果は限定的ではないかとの懸念もあります。

産科医不足の背景にあるのは過酷な勤務状況にあるのですから、そこにメスを入れない限り、改善は望めないのかもしれません。

何か良い解決策はないものでしょうか。この問題は以前からずっと指摘されてきたことですが、それでもなお改善に至りません。皆さんも一度一緒に考えてみていただければと思います。

以上

事務局より

【緊急・重要／新型コロナウイルス関連】

【注意喚起】 新型コロナウイルス等、感染予防のお願い

◇入試情報を確認しましょう

情報を入手し次第、以下ページにて、各大学の試験情報をお知らせしています。
各大学の試験日程の一覧・カレンダーも随時更新していますので、ご確認ください。
なお、情報の更新は各大学のウェブサイトと必ずしも連動はしておりませんので、
ご自身でも日頃から受験予定の大学ホームページを確認しましょう。

＜入試情報＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-exn
※更新の際は都度マイルームにてお知らせしています。

＜マイルームトップページ「管理者からのメッセージ」内にも同ページのリンク設置＞

◇【資料】個人面接の質問事項・集団討論のテーマ（2021、2020、2019 年度版）

受験生にご提供いただいた「面接アンケート」をもとに、2021、2020、2019 年度実施の各大学の個人面接質問事項・集団討論テーマを取りまとめ編集した資料を、マイルームにアップしています。
閲覧のみ（印刷不可）の資料となりますが、今後の面接・集団討論の対策として、ぜひご活用ください。
※マイルームトップ　＞　ライブラリページよりご確認ください。

◇【期間限定】医学部学士編入対策 WEB ガイダンス実施済アーカイブ

5/15（日）に実施した外部向け WEB ガイダンス動画『英語対策 Q＆A』を受講生限定で公開いたします。
これから受験を検討する外部の方を対象にした内容ですが、受験戦略を立てる上でも参考になりますので、ぜひこの機会にご視聴ください。
詳細はマイルーム上でご案内しております。
※視聴期限：2022 年 12 月 27 日(火)まで

◇2021 年度合格者インタビュー動画公開のお知らせ

2/27 に実施した外部生向け WEB ガイダンス「合格者インタビュー」
配信動画（音声のみ）を公開しております。
2021 年度に合格した OBOG4 名が参加し、合格までの体験談を
インタビュー形式でお聞きしています。ぜひご視聴ください。
詳細はマイルームのお知らせをご参照ください。

≪2022年度実施試験対応≫

――――★　2022 年実施試験対応講座　直前対策講座のご案内　★――――

■出願書類（課題論文）対策　＜お申込み受付中＞
既に志望理由を固めていることを前提とし、試験直前期の対策として
各大学のテーマ・文字数に合わせた出願書類の完成を目指す添削完結型講座です。
※お申込みは WEB 申込のみとなります。
＜詳細・お申込はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022/dcm2022
※こちらは志望理由が固まっている方を前提とした講座です。

■プレミアム講座 ＜お申込み受付中＞
入試直前期の ONE UP として、過去問分析や発展分野の対策講座を設置いたします。
詳細は KALS HP にてご確認ください。
※全講座 e ラーニングです。
※お申込みは WEB 申込のみとなります。

＜詳細・お申込はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022
（生命科学過去問分析／滋賀医科大学の担当講師が変更になりました）

※以下はマイルーム上で詳細・申込方法をご案内しています。
※いずれも**＜本年度入試において面接／集団討論に進まれる方＞**が対象です。

■ **個人面接対策**（お申込み受付中）
本年度入試において面接試験に進まれる方を対象に、模擬を含めた面接対策を行う講座です。
いずれの大学も面接の評価が最終合格を左右します。しっかり対策し本番に臨んでください。

■ **集団討論（集団面接）対策**（6/27～順次お申込み開始）
最終選考で「集団討論(集団面接)」を課す大学では、限られた時間の中でいかに自分をアピールし、なおかつ協調性を示せるかが重要になります。
本講座は講義形式ではなく、ZOOM を使用して討論・模擬面接（グループワーク）の対策を行う参加型の講座です。

――――★ 実力テスト・中間テスト ★――――
以下テストは、一斉実施は終了しましたが、毎月、月末締め※で採点を受け付けます。
未受験の方は、各テスト案内ページの「期日後の採点受付スケジュール」をご確認のうえ、
答案をぜひご提出ください。
※各シリーズ受講期限が最終締め切りとなります。

実戦実力テスト
◎受験対象：2022 年実施試験対応講座 全受講生

実戦生命科学 中間テスト
◎受験対象：2022 年実施試験対応 実戦シリーズ「生命科学」受講生

完成シリーズ実力テスト
◎受験対象：2022 年実施試験対応講座 全受講生

完成生命科学 中間テスト

◎受験対象:2022 年実施試験対応 完成シリーズ「生命科学」受講生

――――★ 2022 年実施試験対応講座 受講生対象 チュートリアル ★――――

★下記のチュートリアルは、マイルーム配信中です。
新宿校、名駅校通学生は所属校舎で DVD 視聴も可能です。

「基礎復習テスト 生命科学①②③ 解説講義」 各 120 分
「基礎力判定テスト 解説講義」英語・物理・化学 各 60 分
「受験校の選択」 90 分
※お詫びと訂正※ 「受験校の選択」動画内で
「旭川医科大学は TOEFL・TOEIC のいずれかが出願要件」という記載がございますが、
2021 年度実施試験より提出を要さないことになりました。
「出願書類の書き方」 90 分
「完成生命科学 中間テスト解説講義」 120 分
「完成実力テスト解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分
「物理化学 最新の出題傾向と対策」 60 分
「実戦生命科学 中間テスト解説講義」 120 分
「実戦 実力テスト 解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分
「第1回公開模試 解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分／物理 90 分／化学 60 分

――――★ 2022 年実施試験対応講座 受講生限定講座申込受付中！ ★――――

①トップレベル生命科学テストゼミ(全5講／テスト 60 分・解説講義 60 分)

基礎力の固まった方向けの実戦演習です。

得点力、応用力を飛躍的に伸ばすのに好適なテストゼミですので、総仕上げとしてご活用ください。

対象者:2022 年度実施試験対応講座受講生、かつ現在または過去の受講含め、完成シリーズ「生命科学」と実戦シリーズ「生命科学」両方の受講履歴がある方

【WEB 通信講座】 ※申込期限:11/18(金)、答案提出期限:11/30(水)

※LIVE 講義(＋e 補講付)は申込受付を終了しました。

②志望理由書〔添削付〕個別指導講座 ※申込は終了しました。答案提出・個別指導受講期限:7/31(日)

志望理由書の添削(2 回)と個別指導(1 回／30 分)がセットになります。

構成や書き方について KALS 講師がきめ細かく添削し、
個別にフィードバックすることで志望理由書の完成度を上げる講座です。

③文系のためのミニマム数学【WEB 通信講座】(全 3 講／各 120 分)※申込期限:8/10(水)

生命科学を学ぶ上で、対数、微分などの最低限の知識が必要です。
必要最低限の数学(確率・統計は除く)の知識と考え方を勉強していただく講座です。
＜名駅校のみ DVD 講座も設置いたします。詳細は名駅校へお問い合わせください。＞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

≪2023年度実施試験対応≫

――――――★　復習テストのお知らせ　★――――――

基礎シリーズでは知識定着をはかるため、各科目復習テスト（記述式）を実施します。
以下テストの日程を目安にして各科目の復習に取り組み、積極的にテストを受験しましょう。

◎受験対象：　各科目の受講者
◎会場受験（新宿本校・新大阪校）または自宅受験を選択／各科目につき、いずれか1回受験可能
（会場によっては、自宅受験のみの科目があります）
※新型コロナウイルス感染状況により、やむを得ず会場受験を中止する可能性があります。
予めご了承ください。
◎生命科学は範囲を分けて、3 回実施予定
①第 1 講～第 10 講／②第 11 講～第 16 講／③第 17 講～第 25 講
◎試験時間：　60 分（生命科学のみ 90 分）
◎〔物理・化学を学習するための数学〕は実施しません
●詳細はマイルームの、【復習テストのお知らせ】（会場受験、自宅受験）をご確認ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

≪皆様へのご案内≫

◆生命科学テストバンク【WEB 通信講座】 お申込受付中！

オリジナルの記号式問題演習ツールです。「練習テスト」「模擬テスト」の 2 パターンから構成されており、
繰り返し利用することで体系的な知識整理が可能です。
高校範囲を主に扱う「基礎編」と、大学の生命科学に特化した「標準編」のレベルがあります。

▼詳細・お申し込みはこちら▼
【基礎編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-14121202
【標準編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-141212

◆個別カウンセリングのご案内

マイルーム「個別カウンセリングページ」をご活用ください。

各校舎在籍チューターによる紹介動画を掲載、各チューターの特性や
校舎ごとの実施状況もご確認いただけます。
https://school.kals.jp/information/medical-trn-tutor

※ご予約方法は校舎によって異なります。
※次月分は毎月 25 日頃決定分より順次予約受付開始となります。
※個別カウンセリング利用にあたっては、通学・通信問わず個人登録シートが必要です。
ご提出していない方は、お早めにご提出ください。